

# 大潟区 第44号 地域協議会だより

発行日 令和2年4月25日  
発行 大潟区地域協議会  
会長 佐藤忠治  
編集 会報編集委員会  
事務局 大潟区総合事務所  
総務・地域振興グループ  
電話 534-2111

## 地域協議会委員の任期を終える

区民の代表機関をめざし

熟議に努める

会長 佐藤忠治

新型コロナウイルスが世界的に感染拡大し、この上越市でも感染者が発生する事態になりました。そんな中、大潟区地域協議会委員としての任期が、4月28日をもって終了することになりました。大潟区民の皆様の協力に感謝します。毎月一回協議会を開催するに際し、委員の発言を促し、意見

を集約し地域課題の解決に成果が出るように努めました。研修会では、市創造行政研究所職員や地方自治の研究者からの助言も助けになりました。最後に、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため3月からの会議が中止になったのが残念です。支えてくださった総合事務所の所長を

はじめ次長、スタッフの皆さん、地域自治の両輪としてよく面倒みてくれたことに感謝します。次期の協議会委員にバトンタッチします。



協議中の地域協議会  
(令和2年2月20日)



大潟区の魅力発見・発信事業  
地域の課題として決定



上越市創造行政研究所職員を招いて  
の研修会 (平成28年10月19日)



協議中の地域協議会  
(平成29年10月19日)



地域活動支援事業の成果報告会  
(平成29年2月29日)



成果報告会で住民とともに  
聞き入る協議会委員

# 地域活動支援事業の 成果報告会

## 令和 元年度

### 8団体9事業が報告



事業報告する上越市防災士会大潟支部  
(大潟コミュニティプラザにて)

2月29日(土)大潟コミュニティプラザにて、大潟区の「令和元年度地域活動支援事業成果報告会」が開催されました。

大潟区の地域活動支援事業の採択方針である「自然をいかし、いのちを活かす、こころ和む潮さいのまちづくり」を目的に採択された事業の成果報告がされました。新型コロナウイルスの感染が心配されましたけれども、支援事業を利用した団体の会員をはじめ住民や町内会役員・地域協議会委員など78人が参加しました。

また、「大潟区の魅力発見・発信事業」で作成したDVDの試写会が行われ、好評でした。佐藤会長から「1年間の地域協議会の活動報告」が行われました。最後に、担当者から令和2年度の地域活動支援事業の概要説明及び地域協議会委員の公募についての説明が行われ終了しました。

### 〇体操のまち上越 〇交流人口拡大のハブ施設に



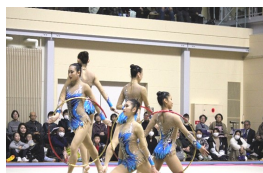
上越市立体操場  
ジムリーナ

1月26日、大潟区九戸浜地内に待望の「上越市立体操場・ジムリーナ」が開場しました。オープン記念式典には、村山市長をはじめ多くの来賓及び関

係者が参列され、盛大に挙行されました。

引き続き記念イベントが行われ、コナミスポーツ体操競技部・オリンピックメダリストの加藤凌平選手、日本体育大学体操競技部女子の小池亜優選手他、招待選手の模範演技に900人の来場者は魅了されました。更に、国士舘大学男子新体操部、日本女子体育大学新体操部選手の演技や、金沢学院大学クラブ森ひかる選手、岸彩乃選手によるトランポリンの迫力ある演技を間近に見て、大きな拍手が湧きました。

総工費21・5億円、体操床面積はほぼ大潟体育センターに



日本女子体育大学  
新体操部の演技

匹敵し、体操競技10種目が同時に実施できるなど体操に特化した施設です。

既存の大潟体操アリーナと合わせ、全国・世界レベルの選手が巣立つよう、期待は大きい。両施設を訪れる選手、関係者が数多く見込まれ、大潟区への交流人口拡大と移住・定住につながるハブ施設になればと願うものです。

## 地域協議会の開催状況(令和2年1月~3月)

第9回	1月23日 (木)	①総合事務所の時間外受付見直し概要について：自治・地域振興課から説明 ②令和元年度地域活動支援事業(大潟区)の成果報告会について ③上越市温泉事業給湯条例の一部改正について：施設経営管理室から説明 ④自主的審議事項「鵜の浜温泉の活性化」について ⑤公の施設の再配置計画策定に係わる取組み状況について
第10回	2月20日 (木)	①大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利用時間変更について：水澤人魚館社長 ②地域協議会委員アンケートの実施について ③令和2年度地域活動支援事業の募集要項について
その他	2月20日 (木)	〇勉強会：自主的審議事項「鵜の浜温泉の活性化」について (第10回地域協議会の終了後)
	2月29日 (土)	〇地域活動支援事業(大潟区)成果報告会：8団体9事業について報告 参加者 78名(大潟区コミュニティプラザ多目的ホール)
	3月23日 (月)	〇第2回大潟区連絡会議の開催 ①鵜の浜温泉の活性化について(大潟区地域協議会) ②令和2年度定期総会の開催について(大潟区町内会長協議会) ③令和2年度地域活動支援事業提案予定事業(まちづくり大潟) 他

# 四年間を振り返って

任期終了にあたり想いを寄稿してもらいました。



ご協力感谢您します（16名の地域協議会委員）

## 任期を終え安堵

石田浩二（潟町）

無事任期を終え、ホッとしているのが正直なところです。仕事の都合で欠席することも多く、戦力になることは少なかったと思います。

## わたしの願い

梅木英亮（潟町）

しかし、協議会として「大潟の魅力発見DVD」に携り完成できたことは一つの成果と思います。更に継続審議中の「鶴の浜温泉」を含む地域の活性化に向けて、協議会の取組みに期待します。

大潟区に「ジムリーナ」が建設され、施設のな面でも子ども達の夢が叶えられるようになりました。

これらの施設を有効に使って区民の健康や子ども達の身体能力が向上するように、区民一丸となって頑張らなければならぬと思います。

大潟区には、一年間で10のスポーツ大会がありますので、これらの大会を更に活性化させるために、多くの区民の協力が必要です。

大潟区が「体操のまち」「スポーツのまち」として発展するように願っています。

## 願うこと

金澤幸彦（潟田）

地域活動支援事業は、公益性、発展性、質の高い活動を条件に申請した活動が採択される。プレゼンテーションを含めて審査、採点をする。活動の明暗を分ける、緊張した四年であった。

採択者の成果報告を聞くと、今後の地域活動の発展と支援事業の継続を願っています。

## 無欠席でつとめを果たす

君波 豊（犀潟）

協議会委員の定数見直しにより、大潟区は14名となり、緩和措置として16名構成となる節目の第四期の委員。これで最後の思いで応募した。

人口減少・高齢化の社会環境下で、合併15年目を迎える上越市にあって財政基盤の安定化を旗印に、協議会に求める案件も多用であった。その中で、是々非々の立場で、しかも無欠席で務めを果たすことができたと思う。

## 活力ある大潟区を

後藤紀一（雁子浜）

消費税増税、暖冬少雪、新型コロナウイルスのトリプルパンチで経済不透明感の真つただ中、この先が憂慮されます。

地域協議会委員として四年間を振り返って思うことは、「頸北斎場の存続」や「大潟区の魅力発見・発信」への取組みで一定の到達ができたこと。未練が残るのは、「鶴の浜温泉の活性化」策について、不完全燃焼のまま期限切れとなったことです。次期委員の皆様期待します。

## 自主的な審議が誇り

小山 茂（内雁子）

まず感じたことは、地域協議会の認知度が低いということ。地域の課題を地域で解決する役割が期待されていないのではと思うときがありました。

しかし、自らの地域で困っている課題を地域の力で何とか解決していきたいと自主的審議を重ね、さらには地域の団体との連携で取組みを進めてきたことに誇りを感じます。

### 大湊区の魅力発見・ 発信の企画立案

佐藤博之（湊町）

月一回の会議には、都合のつく限り参加しました。毎年の地域活動支援事業の提案を審査。頸北斎場廃止問題については見直しを議論。自主的審議事項では「大湊区の魅力発見・発信事業」の企画立案などが印象にあります。  
大湊区内の勉強になりました。正副会長、事務局の行政職員の皆様感謝いたします。

### 任期を終えることについて

新保正雄（下小船津浜）

四年間の活動を振り返り、成果を出せなかったことを反省します。大湊区の魅力発見・発信事業の成果がこれからどのくらい出てくるかです。

地域にとって最も大きな課題は少子化の進行で、この課題を地域全体としてどう取り組むかが肝要だと思いますので、次期委員に期待します。また、地域協議会委員制度を考え直す時期にきていると思います。どうも四年間ありがとうございました。

### 四年間は長いなあ

内藤 恒（九戸浜）

長いようで短かった四年間。二年間を経過するまでは「四年間というのは結構長いなあ」と感じていたのですが、それを過ぎた頃からは惰性というか、良い意味で使命感でやってこれたと思います。

これからの課題は、地域協議会委員の役割をもっと深く認識し、是々非々で市に対して意見を主張していかなければと考えている今です。

### お世話になりました

中嶋 浩（九戸浜）

教育・文化芸術振興に多少なりとも関わってきた小生にとって、「自主自立のまちづくり」の取組みは、新鮮で興味深い分野の一つでした。

しかし、実際には、課題が明確にされてもその解決策に苦慮し自らの非力をあらためて感ずる四年間であったように思います。内心忸怩たるものがあります。色々とお世話になりました。

### 地域活動支援事業の審査

細井義久（高橋新田）

あつという間の四年任期が過ぎました。初めて参加した地域活動

支援事業の審査で、区内に多くの団体が活動していることを知ることができました。

審査した団体には、地域協議会委員として役にたったと思う。また、大湊区の魅力発見・発信についても、地域資源を利用して地域の活性化につながったと思う。それがまちづくり大湊が事業主体となった大湊の魅力発見・発信のDVDの完成となりました。

地域の活性化に取組むことは、長い期間の積み重ねがあつての成果だと感じました。四年間たいへんありがとうございました。

### 誇れる成果は

柳澤周治（土底浜）

市議会を引退し培った経験を地域に活かす想いで受けた委員であつたが、合併後の課題が依然として多いことを痛感した四年間であつた。そんな中でも「合併に埋没しないPR版事業」の完成は、後に誇れる成果を残したものと喜んでる。

### 地域づくりを知る

山田幸作（長崎）

委員の一人として地域活動支援事業に立ち会わせていただいたことで、いろいろな立場の方々が、いろいろな場所地域を良くしようと頑張っておられることを知りました。

これからは自らも、地域活動支援事業を使わせていただくような活動をしていけばと考えています。

### 「このまちを好きになる

山本 宏（土底浜）

委員であつたこの四年間、頸北斎場存続や山鳥毛取得の問題、シムリーナ建設等、いろいろなできごとがあり、今までは違った視点で物事を見ることができました。

また「大湊の魅力発見・発信！」という企画に携わり、ますますこのまちを好きになりました。多くの方にこのDVDを観てもらえたならと思います。

ありがとうございました。

### 編集後記

任期最後の協議会だよりとなりまして。この間の発行で私たちの思いを十分に伝えることができたでしょうか▼合併の申し子ともいえる自治区制度と協議会。大湊区の意思決定機関として重要な役割を持っています▼願わくば権能の拡大と処遇面の

改善を求めつつ、静かに去りたいと思います▼そして、次期委員になられる皆さんに、より大きい期待を申し上げます。四年間ありがとうございました  
【編集委員】  
柳澤・細井・山田・山本・君波